

2018年12月19日第9回研究会韓国旅行報告



日本帝国主義による侵略の歴史と、それに加担した親日派の行為、輝かしい抗日闘争の歴史を記録し、展示する韓国初の日帝強占期専門歴史博物館です。

この大切な歴史文化空間は、民族問題研究所と太平洋戦争被害者補償推進協議会などの市民団体、独立運動関係者、学界が中心となり、民間の力だけで推進され、海外同胞を含む数多くの市民のカンパと寄贈資料によってつくられました。

植民地歴史博物館は、日帝の残虐と分断体制を克服し、東アジアの平和を一日も早く実現するための活動を積極的に推進します。東学農民戦争の「たいまつ」から市民革命の「ろうそく」へと、連続と受け継がれている独立精神と民主主義の価値を守り、高めていく道的基础をつくります。

開館までの経過

- 2007.02 歴史館建設準備委員会発足
- 2008.06 資料寄贈キャンペーン
- 2010.03 民族問題研究所に臨時歴史資料館開設
- 2011.02 歴史館建設委員会出帆
- 2011.10 建設募金コンサート「目覚めよ、歴史」開催
- 2012.02 朴正熙記念図書館建設反対運動
- 2013.05 特別賛同者の募集、一般募金の拡大
- 2014.09 韓国史教科書国定化反対運動
- 2015.02 「(仮称)植民地歴史博物館建設計画」発表
- 2015.11 「植民地歴史博物館」と日本をつなぐ会発足
- 2016.08 「国恥日をご存知ですか」募金キャンペーン
- 2016.11 「植民地歴史博物館建設後援会」開催
- 2017.02 博物館建設用地・ビル決定
- 2017.12 博物館建設ビルへの移転、改装工事開始
- 2018.06 展示モニタリング開始、「植民地歴史博物館」と日本をつなぐ会建設基金寄贈式
- 2018.8.29 開館式

第1ゾーン

日帝はなぜ朝鮮を侵略したのか

帝国の戦場となった朝鮮／「天皇」の代理者、朝鮮総督／鉄刺で抑え込み、同化と差別で丸め込む／奪われた野、荒廃した暮らし



第2ゾーン

日帝の侵略戦争朝鮮人に何が起ったか

天皇のために喜んで命を捧げよ／余すことなく総動員せよ／「青春半旗」が掲げられ、動員された人々／壊れない魂、残された人々



第3ゾーン

同じ時代、違う人生—親日と抗日

亡国の恨（ハン）、独立への夢／国を売って富貴栄華を享受した人々／天皇の臣民に生まれ変わった人々



第4ゾーン

過去を乗り越える力 いま、私たちは何をすべきか

反民特委の挫折、親日派の帰還／分断と独裁、遅延した歴史正義／共感と連帯の力／私は問っている



INFORMATION

- 屋上

 展望・休憩スペース
- 5階

 教育空間
文化・教育スペース
講義室・セミナー室
- 4階

 資料室
保存・閲覧スペース
収蔵庫・書庫
- 3階

 民族問題研究所
研究・事務スペース
研究室・事務局・会議室
- 2階

 常設展示館
展示・体験スペース
- 1階

 複合文化空間
オープンスペース
インフォメーション
企画展示室・イベントホール

開館時間
10:30~18:00 (入館は17:30まで)

休館日
月曜日、1月1日、旧正月・秋夕の連休

入館料

| | |
|-----|----------------------------------|
| 一般 | 個人 3,000ウォン |
| | 団体 2,500ウォン (15名以上) |
| 青少年 | (8歳以上18歳以下) |
| | 個人 1,500ウォン |
| | 団体 1,000ウォン (15名以上) |
| 無料 | 特別賛同者 民族問題研究所会員 8歳未満65歳以上 障害者 |

アクセス
地下鉄4号線「瀨大入口」駅下車、10番出口から徒歩12分

〒04310 Seoul市龍山区青坡路47 Da-gil 27 植民地歴史博物館 受付1F
Tel (+82)-2-2139-0403 Fax (+82)-2-965-8879 | P.history.museum.or.kr

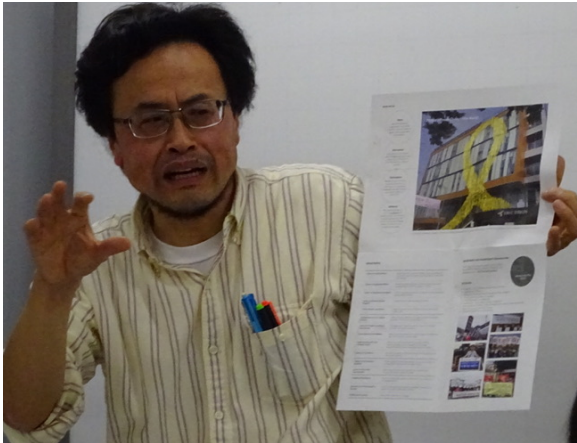
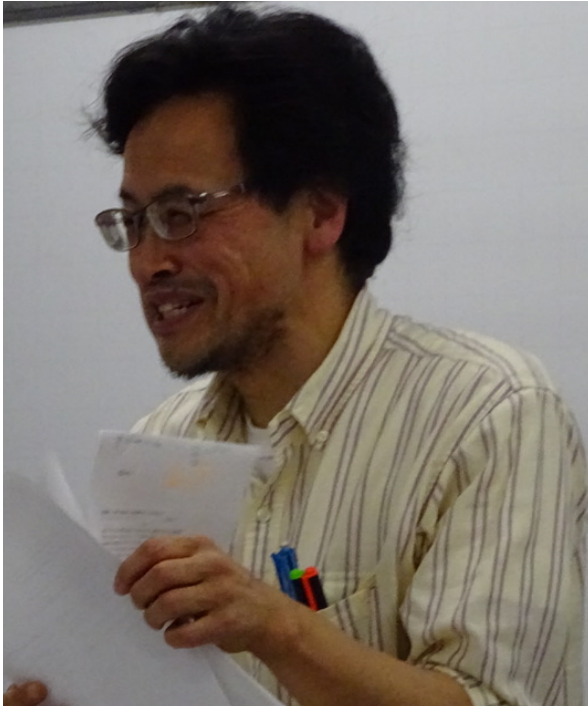
※ 駐車場の利用を希望される方は、事前にご連絡をお願いします
なお、駐車場入り口の高さは2メートルです

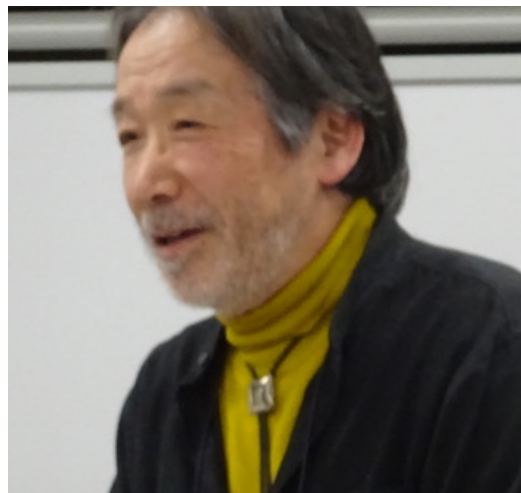
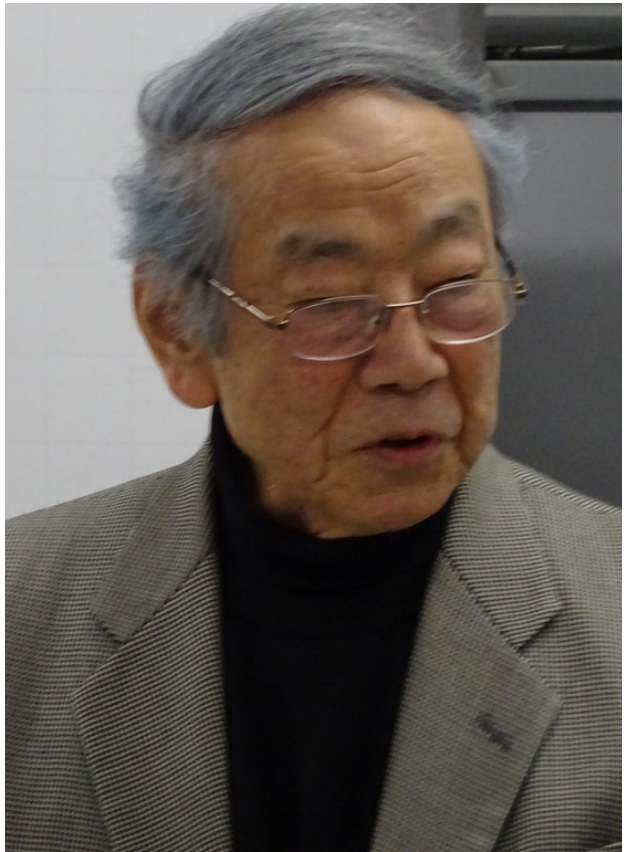
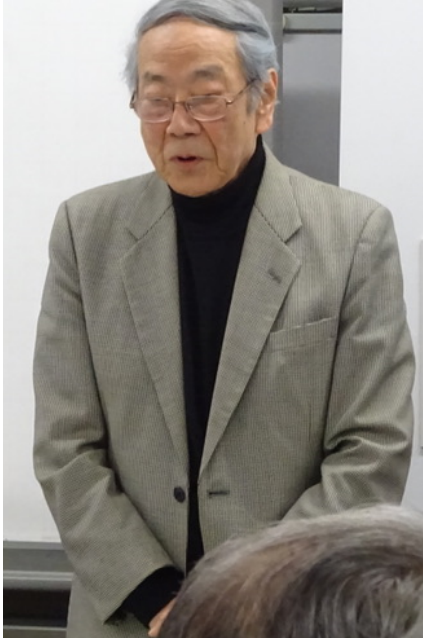
MUSEUM OF JAPANESE COLONIAL HISTORY IN KOREA

記憶と省察

植民地 歴史 博物館

04310 서울시 용산구 청파로47다길 27 식민지역사박물관







若い力~~~~~!